



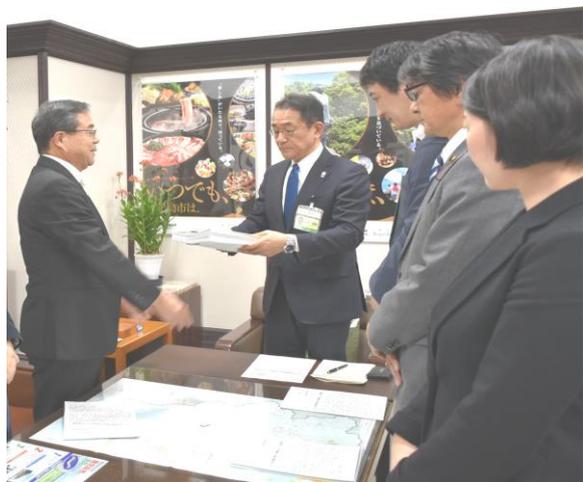
市長に要望書（149項目）を提出

～国保税引上げ反対署名（1795筆）を提出～

日本共産党市議団は、第4回定例市議会閉会後の12月26日、「市民の市政をつくる会」と共同で、森市長宛に「2018年度鹿児島市予算編成にむけた要望書（149項目）」を提出し、今後の市政運営や新年度予算案に反映していただくように要請しました。

また2018年4月から、国保の「都道府県単位化」が始まることに伴い、本市の国保税の引上げが懸念されることから、市民から寄せられた「国保税引上げに反対する要請書」を1795筆（一次分）提出しました。

要請には森市長の代理として、松永副市長が応対し、「皆さんの要望を市長に伝える」と答えられました。党市議団（3名）は、新年度も、市民の皆さんと力を合わせて、「市民の命と暮らしを守る」市政実現のために全力をつくす決意です。



↑ 要望書と国保署名を提出する「市民の会」代表委員 祝迫光治氏と日本共産党市議団

2018年度鹿児島市予算編成に向けた要望書（149項目）の構成

第5次鹿児島市総合計画の「6つの柱」に即して要請しました。

- 1、市長の政治姿勢について（10項目）
- 2、市民と行政が拓く協同と連携のまちづくり（18項目）
- 3、水と緑が輝く人と地球にやさしいまちづくり（15項目）
- 4、人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまちづくり（14項目）
- 5、健やかに暮らせる安全で安心なまちづくり（53項目）
- 6、学ぶ喜びが広がる誇りあるまちづくり（20項目）
- 7、市民生活を支える機能性の高い快適なまちづくり（19項目）

第18回市政報告会

日時：1月21日（日）

午後1時開場

13：30～15：00

会場：鴨池公民館

ぜひご参加ください。